

平成 28 年 11 月 20 日（日）施行

第 144 回 日商簿記検定試験 2 級 解説

第 1 問

1. 開発を外部に依頼し、ソフトウェア仮勘定として計上している。

(借) ソフトウェア仮勘定	30,000,000	(貸) 未払金	30,000,000
---------------	------------	---------	------------

2 回分の未払金をすでに支払っていた。

(借) 未払金	10,000,000	(貸) 普通預金	10,000,000
---------	------------	----------	------------

完成時、ソフトウェア勘定に振り替え、最終回の支払いを普通預金から行った。

(借) ソフトウェア	30,000,000	(貸) ソフトウェア仮勘定	30,000,000
未払金	10,000,000	普通預金	10,000,000

2. 土地の売却により受け取った手形は、営業外受取手形として処理する。

当座預金：売買代金 $\yen 40,000,000 \times 60\% = \yen 24,000,000$

営業外受取手形：売買代金 $\yen 40,000,000 -$ 当座預金 $\yen 24,000,000 = \yen 16,000,000$

土地売却益：売買代金 $\yen 40,000,000 -$ 帳簿価額 $\yen 24,000,000 = \yen 16,000,000$

3. 販売時に認識したクレジット手数料は、支払手数料として処理する。消費税は税抜方式で処理するため、仮受消費税を計上する。

仮受消費税：販売代金 $\yen 300,000 \times 8\% = \yen 24,000$

支払手数料：販売代金 $\yen 300,000 \times 4\% = \yen 12,000$

クレジット売掛金： $\yen 300,000 + \yen 24,000 - \yen 12,000 = \yen 312,000$

4. 発送運賃(当社負担)は発送費とし、商品の購入に関する引取運賃は仕入で処理する。なお、引取運賃は運送業者に支払うものであるため、未払金を計上する。

5. 取引先の発行済株式の 10% を取得したとき、その他有価証券として処理する。追加で取得し取引先に対する支配を獲得することにより、先に取得したその他有価証券から子会社株式へ振り替える。

子会社株式：先に取得した分 $\yen 4,000,000 +$ 追加で取得した分 $\yen 25,000,000 = \yen 29,000,000$

第2問

1. 商品有高帳の作成（先入先出法）

商 品 有 高 帳

甲 商 品

平成 28年	摘 要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	
4	1	前月繰越	500	3,000	1,500,000				500	3,000	1,500,000
	5	仕 入	200	3,200	640,000				500 200	3,000	1,500,000
								3,200		640,000	
	6	仕 入	100	3,200	320,000				500 300	3,000	1,500,000
								3,200		960,000	
	10	売 上				500	3,000	1,500,000			
						50	3,200	160,000	250	3,200	800,000
	14	仕 入	450	3,300	1,485,000				250 450	3,200	800,000
								3,300		1,485,000	
	20	売 上				250	3,200	800,000			
						150	3,300	495,000	300	3,300	990,000
	30	商品評価損				300	200	60,000	300	3,100	930,000
	"	次月繰越				300	3,100	930,000			
			1,250		3,945,000	1,250		3,945,000			

商 品 有 高 帳

乙 商 品

平成 28年	摘 要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	
4	1	前月繰越	400	2,500	1,000,000				400 400	2,500	1,000,000
	5	仕 入	300	2,700	810,000					2,700	810,000
	6	仕入返品	100	2,700	270,000				400 200	2,500	1,000,000
								2,700		540,000	
	14	仕 入	200	2,300	460,000				400 200 200	2,500	1,000,000
								2,700		540,000	
								2,300		460,000	
	20	売 上				400	2,500	1,000,000			
						200	2,700	540,000			
						50	2,300	115,000	150	2,300	345,000
	30	商品評価損				150	100	15,000	150	2,200	330,000
	"	次月繰越				150	2,200	330,000			
			800		2,000,000	800		2,000,000			

2. 取引の仕訳

4月5日 手付金・掛仕入

(借) 商	品	1,450,000	(貸) 前	払	金	600,000
				買	掛	金
						850,000

商品：甲商品 200 個×@ ¥3,200+乙商品 300 個×@ ¥2,700= ¥1,450,000

4月6日 仕入返品・掛仕入

(借) 買	掛	金	270,000	(貸) 商	品	270,000
	商	品	320,000		買	掛
						金
						320,000

仕入返品：乙商品 100 個×@ ¥2,700= ¥270,000

仕入：甲商品 100 個×@ ¥3,200= ¥320,000

4月10日 掛売上・売上原価に振り替え

(借) 売	掛	金	3,300,000	(貸) 売	上	3,300,000
	売	上	原		商	品
			価			
			1,660,000			1,660,000

売上：甲商品 550 個×@ ¥6,000= ¥3,300,000

売上原価：甲商品の商品有高帳 4月10日の払出欄より

4月14日 手形・掛仕入

(借) 商	品	1,945,000	(貸) 受	取	手	形	900,000
				買	掛	金	1,045,000

商品：甲商品 450 個×@ ¥3,300+乙商品 200 個×@ ¥2,300= ¥1,945,000

他社振出の約束手形の譲渡は、受取手形として処理する。

4月16日 売掛金の回収

(借) 売	上	割	引	3,300	(貸) 売	掛	金	3,300,000
	現		金	3,296,700				

売上割引：¥3,300,000×0.1%= ¥3,300

4月20日 掛売上・発送運賃(当店負担)

(借) 売	掛	金	5,850,000	(貸) 売	上	5,850,000
	発	送	費	8,000	現	金
						8,000
	売	上	原	価	商	品
				2,950,000		2,950,000

売上：甲商品 400 個×@ ¥6,500+乙商品 650 個×@ ¥5,000= ¥5,850,000

当店負担の発送運賃は、発送費として処理する。

売上原価：甲商品・乙商品の商品有高帳 4月20日の払出欄より

4月21日 売上値引

(借) 売	上	975,000	(貸) 売	掛	金	975,000
-------	---	---------	-------	---	---	---------

売上値引：乙商品 650 個×@ ¥1,500= ¥975,000

4月25日 売掛金の回収

(借) 電	子	記	録	債	権	800,000	(貸) 売	掛	金	800,000
-------	---	---	---	---	---	---------	-------	---	---	---------

4月28日 売上割戻

(借) 売	上	割	戻	引	当	金	13,000	(貸) 現	金	20,000
	売	上					7,000			

前期の売上に関する割戻は、前期の売上割戻引当金を取り崩し、当期の売上割戻は売上から控除する。

4月30日 商品評価損

(借) 商品評価損	75,000	(貸) 商品	75,000
売上原価	75,000	商品評価損	75,000

商品評価損：甲商品・乙商品の商品有高帳4月30日より

- ① 当月の売上高：4月10日 ¥3,300,000 + 4月20日 ¥5,850,000 - 4月21日 ¥975,000 - 4月28日 ¥7,000 = ¥8,168,000
- ② 当月の売上原価：甲商品・乙商品の商品有高帳の払出欄より、甲商品 ¥2,955,000 + 甲商品評価損 ¥60,000 + 乙商品 ¥1,655,000 + 乙商品評価損 ¥15,000 = ¥4,685,000
- ③ 当月末の売上割戻引当金の残高：前期末売上割戻引当金 ¥24,000 - 4月28日 ¥13,000 = ¥11,000

第3問

1. 決算の調査

- ① 現金の実際有高と帳簿残高の不一致

(借) 現金	50	(貸) 雑益	50
--------	----	--------	----

実際有高 ¥65,400 - 帳簿残高 ¥65,350 = ¥50

- ② 仕訳なし
- ③ 売掛金の貸倒

(借) 貸倒引当金	23,000	(貸) 売掛金	23,000
-----------	--------	---------	--------

- ④ 建物の引き渡し

(借) 建物	1,500,000	(貸) 建設仮勘定	1,200,000
		当座預金	300,000

2. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	7,940	(貸) 貸倒引当金	7,940
-------------	-------	-----------	-------

{受取手形 ¥280,000 + 売掛金 (¥390,000 - ¥23,000)} × 2% - 前期貸倒引当金 (¥28,000 - ¥23,000) = ¥7,940

3. 売買目的有価証券の評価

(借) 有価証券評価損	4,050	(貸) 売買目的有価証券	4,050
-------------	-------	--------------	-------

時価 (A社株式 ¥41,500 + B社株式 ¥72,200 + C社株式 ¥29,800) - 帳簿価額 (A社株式 ¥37,800 + B社株式 ¥81,900 + C社株式 ¥27,850) = - ¥4,050

4. 売上原価の計算・商品の評価

(借) 仕入	69,800	(貸) 繰越商品	69,800
繰越商品	88,150	仕入	88,150
棚卸減耗損	1,505	繰越商品	1,505

期末商品の帳簿棚卸高：410個 × @ ¥215 = ¥88,150

棚卸減耗損：(410個 - 403個) × @ ¥215 = ¥1,505

商品評価損：正味売却価額 @ ¥221 > 原価 @ ¥215、そのため評価損を計上しない。

5. 有形固定資産の減価償却

(借) 減価償却費	297,390	(貸) 建物減価償却累計額	228,750
		備品減価償却累計額	68,640

建物の減価償却：旧建物 ¥7,500,000 × 90% ÷ 30年 = ¥225,000

新建物 ¥1,500,000 × 90% ÷ 30年 × 1か月 / 12か月 = ¥3,750

備品の減価償却：(¥670,000 - 累計額 ¥326,800) × 20% = ¥68,640

6. のれんの償却：

(借) のれん償却	28,000	(貸) のれん	28,000
-----------	--------	---------	--------

¥196,000 ÷ 残存期間(10年 - 3年) = ¥28,000

3年：平成24年4月1日～平成27年3月31日

7. 満期保有目的債券の償却

(借) 満期保有目的債券	1,200	(貸) 有価証券利息	1,200
--------------	-------	------------	-------

(額面金額 ¥500,000 - 取得原価 ¥500,000 × ¥98.80 / ¥100) ÷ 5年 = ¥1,200

5年：取得日平成26年4月1日～償還日平成31年3月31日

8. 退職給付の見積

(借) 退職給付費用	175,000	(貸) 退職給付引当金	175,000
------------	---------	-------------	---------

9. 保険料の未経過

(借) 前払保険料	30,000	(貸) 保険料	30,000
-----------	--------	---------	--------

¥120,000 × 4か月 / 16か月 = ¥30,000

4か月：平成28年4月1日～平成28年7月31日

16か月：平成27年4月1日～平成28年7月31日

第4問

1. 原料X(直接材料費)・消耗品Y(間接材料費)勘定の作成

		原料 X		(単位：円)	
11/ 1	月初有高	44,000		当月消費額	
	当月仕入高		11/ 9	仕掛品#1101	220,000
11/ 4	A 化学工業	265,000	11/19	仕掛品#1102	295,000
11/13	C ケミカル	275,000	11/30	月末有高	69,000
		<u>584,000</u>			<u>584,000</u>

		消耗品 Y		(単位：円)	
11/ 1	月初有高	9,000	11/30	当月消費額	51,000
	当月仕入高		11/30	月末有高	7,000
11/12	B 産業	32,000			
11/22	D 堂	17,000			
		<u>58,000</u>			<u>58,000</u>

2. 材料勘定金額の記入

月初有高：原料X ¥44,000 + 消耗品Y ¥9,000 = ¥53,000

当月仕入高：原料X (¥265,000 + ¥275,000) + 消耗品Y (¥32,000 + ¥17,000) = ¥589,000

直接材料費：原料X (¥220,000 + ¥295,000) = ¥515,000

間接材料費：消耗品Y ¥51,000

月末有高：原料X ¥69,000 + 消耗品Y ¥7,000 = ¥76,000

3. 製造間接費勘定金額の記入

製造間接費の配賦基準：原料X消費高により

予定配賦率：製造間接費年間予算額¥9,600,000÷原料X年間予定消費高¥6,000,000×100=160%

予定配賦額：原料X消費高(¥220,000+¥295,000)×160%=¥824,000

間接材料費：消耗品Y ¥51,000

配賦差異：間接材料費 ¥51,000+間接労務費 ¥388,000+間接経費 425,000－予定配賦額 ¥824,000
= ¥40,000

4. 仕掛品勘定金額の記入

直接材料費：材料勘定より ¥515,000

製造間接費：製造間接費勘定より ¥824,000

当月完成高：仕掛品借方合計 ¥1,673,000－月末有高 ¥214,000 = ¥1,459,000

第5問

		A原料費 (kg)			
	¥560,000	月初 400		完成 4,000	仕損費は完成品負担 ¥5,880,000
	¥6,440,000	当月 4,600		仕損 200	
				月末 800	¥1,120,000

月末仕掛品原価： $(¥560,000 + ¥6,440,000) \div (400 \text{ 個} + 4,600 \text{ 個}) \times 800 \text{ 個} = \mathbf{¥1,120,000}$

当月完成品原価： $(¥560,000 + ¥6,440,000) - ¥1,120,000 = ¥5,880,000$

		B原料費 (kg)			
	¥130,000	月初 200		完成 4,000	仕損費は完成品負担 ¥2,940,000
	¥3,090,000	当月 4,400		仕損 200	
				月末 400	¥280,000

B原料は工程を通じて平均的に投入するから、加工費換算量を用いて按分計算することになる。

月末仕掛品原価： $(¥130,000 + ¥3,090,000) \div (200 \text{ 個} + 4,400 \text{ 個}) \times 400 \text{ 個} = \mathbf{¥280,000}$

当月完成品原価： $(¥130,000 + ¥3,090,000) - ¥280,000 = ¥2,940,000$

		加工費 (kg)			
	¥400,000	月初 200		完成 4,000	仕損費は完成品負担 ¥8,820,000
	¥9,260,000	当月 4,400		仕損 200	
				月末 400	¥840,000

月末仕掛品原価： $(¥400,000 + ¥9,260,000) \div (200 \text{ 個} + 4,400 \text{ 個}) \times 400 \text{ 個} = \mathbf{¥840,000}$

当月完成品原価： $(¥400,000 + ¥9,260,000) - ¥840,000 = ¥8,820,000$

完成品総合原価： A原料費 ¥5,880,000 + B原料費 ¥2,940,000 + 加工費 ¥8,820,000

- 仕損評価額 ¥20,000 = **¥17,620,000**

完成品単価原価： 完成品総合原価 ¥17,620,000 ÷ 完成品 4,000kg = **¥4,405**